

(別紙2)

## 訂 正 内 容

- 1 【0019】における「ドライブピン4D」を「ドライブピン4C」と訂正する。
- 2 【0028】における「ドライブピン4D」を「ドライブピン4C」と訂正する。
- 3 【0028】における「コードピン6C」を「コードピン6D」と訂正する。
- 4 【0029】における「ドライブピン4D」を「ドライブピン4C」と訂正する。
- 5 【0030】における「回転させると、ドライブピン4Dの小径部4bが折れて」を「回転させると、ドライブピン4Cの小径部4bが折れて」と訂正する。
- 6 【図面の簡単な説明】の【図4】における「ドライブピン4D」を「ドライブピン4C」と訂正する。

(別紙3)

## 被 告 製 品 目 録

下記 a ないし k の構成を有するキー変換式ピントンプラー錠。ただし、別紙図面 1 ないし 5 の構成のもの(破線部は任意の形状)。

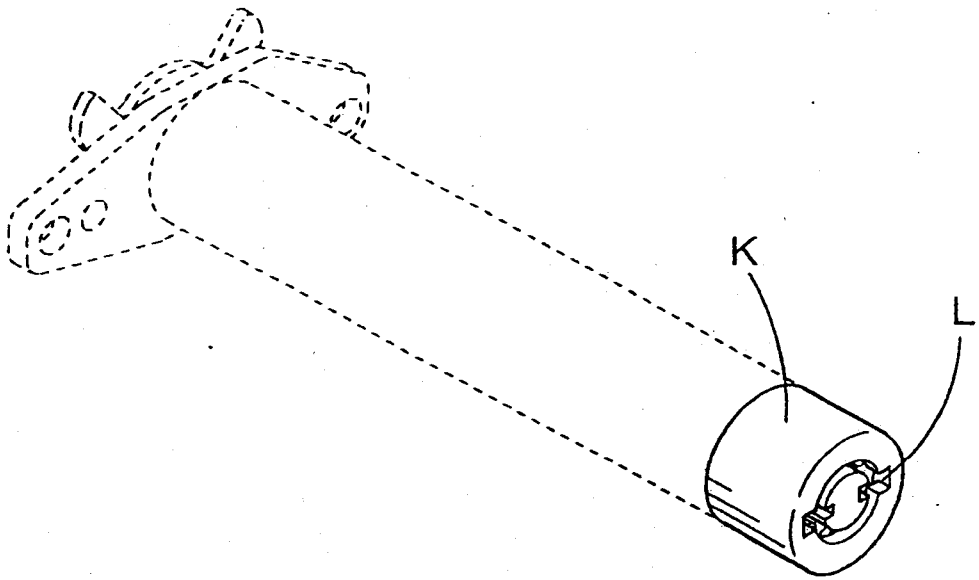
### 記

- a ケーシング(1')内に固定体(2')が取り付けられ、
- b 該固定体(2')内に錠軸を有する回転体(3')が回転可能に嵌挿され、
- c 該固定体(2')と該回転体(3')の当接する一面に回転面(M)が形成され、
- d 該固定体(2')には複数の有底ピン孔(例えば 4 1 A' ~ 4 1 H'。ただし、4 1 A' と 4 1 D' のみ図示)が穿設され、
- e 各有底ピン孔(例えば 4 1 A' ~ 4 1 H')に各々ドライブピン(例えば 4 A' ~ 4 H')がばねによって回転体(3')側へ付勢されて挿入され、
- f 該回転体(3')には回転面(M)を介して各有底ピン孔(例えば 4 1 A' ~ 4 1 H')に連通可能な複数の貫通ピン孔(例えば 6 1 A' ~ 6 1 H'。ただし、6 1 A' と 6 1 D' のみ図示)が穿設され、
- g 各貫通ピン孔(例えば 6 1 A' ~ 6 1 H')には各々コードピン(例えば 6 A' ~ 6 H')が挿入され、
- h 変換用のキーを錠の挿入口(L)に差し込み、該回転体(3')を任意列回転させた状態で、代わりに別の変換用のキーを錠の挿入口(L)に差し込み、該回転体(3')を最初の位置まで回転させることにより、前のキーを使用不能とし、別のキーを使用可能とするキー変換式ピントンプラー錠であって、
- i 前記ドライブピンのうちの少なくとも1本のドライブピンが、ピン本体上に小径部(4 b')を介してピン先端部(P)を一体的に設けて形成され、
- j 該小径部(4 b')が変換用のキーによる回転体(3')の回動時に、折れて分

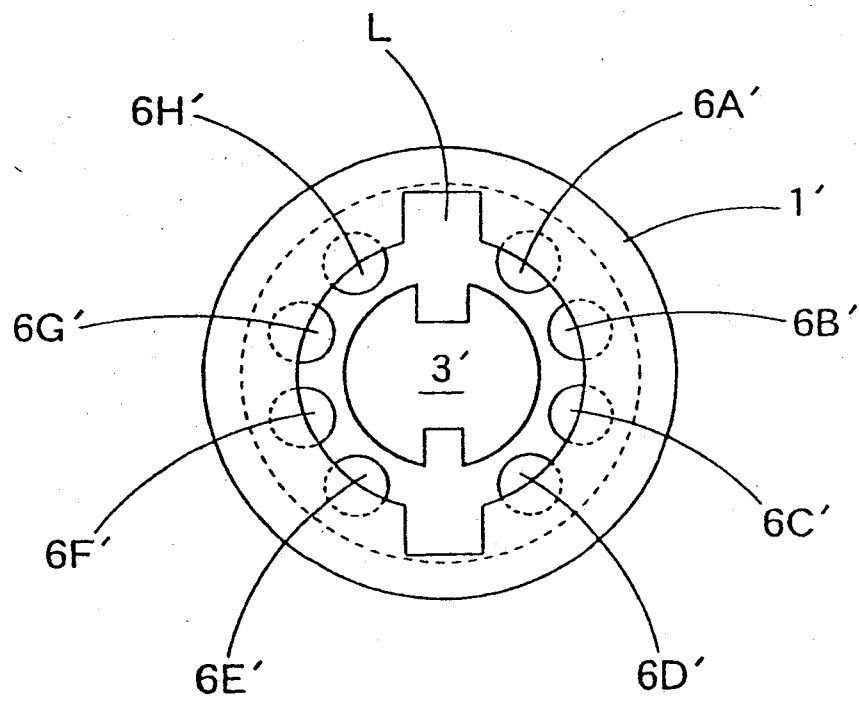
離可能な程度に細く短く形成されている

k キー変換式ピンタンプラー錠。

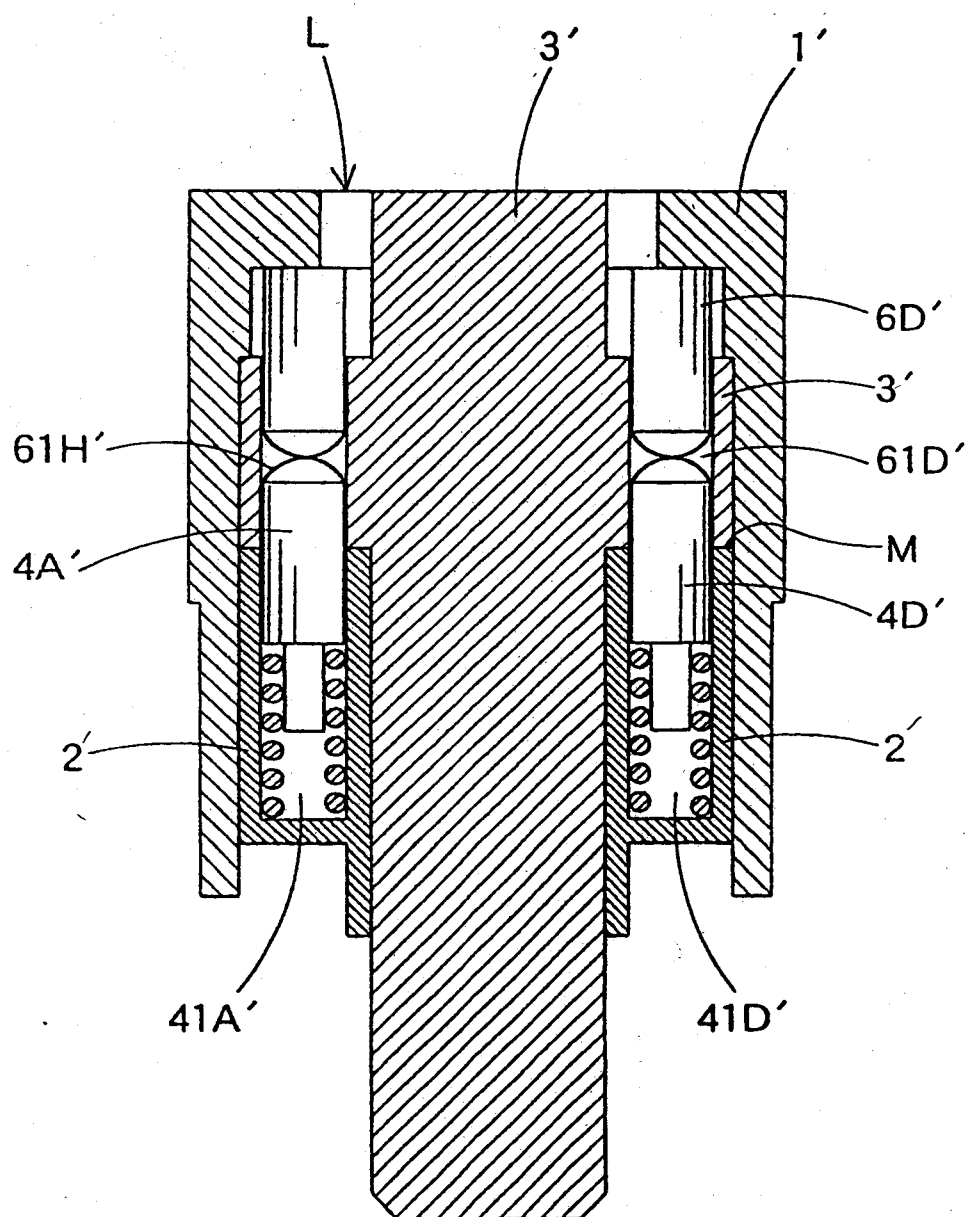
図面 1



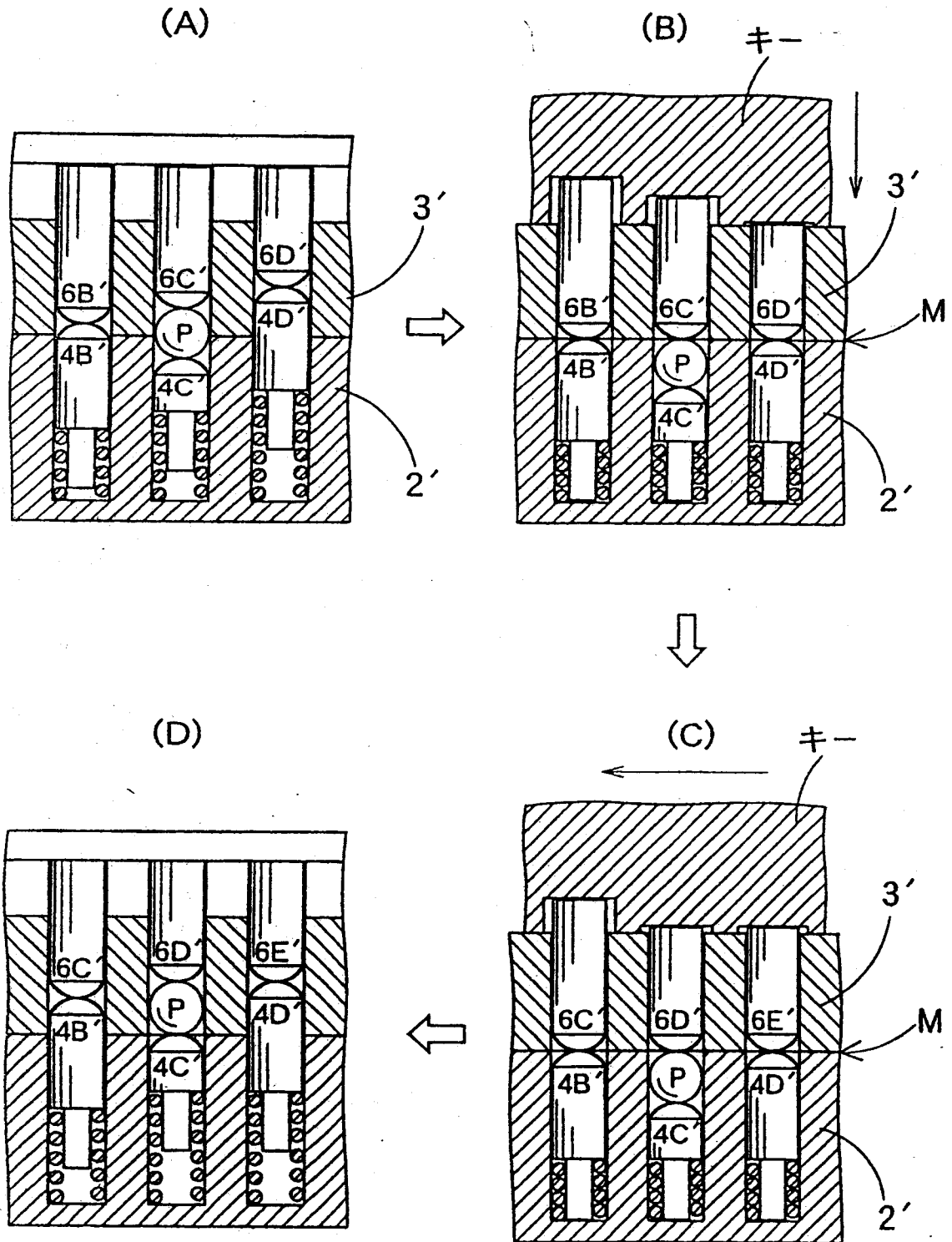
図面2



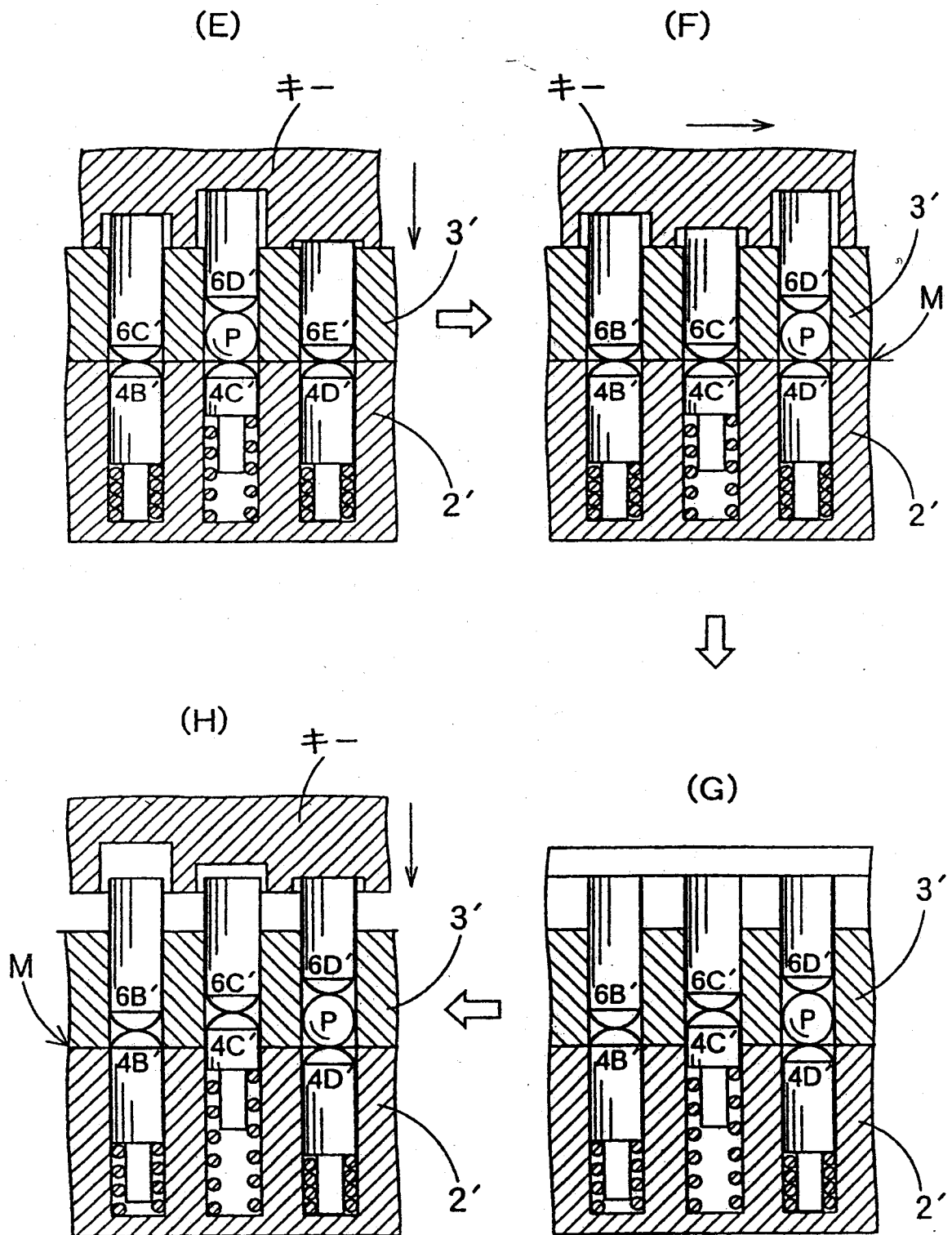
図面3



図面 4



図面 4



図面 5

(左側面図)

(正面図)

(右側面図)

